

【世界アンチドーピング機構 (WADA) と国際ボディビル・フィットネス連盟 (IFBB) について】

9月23日付けで、世界アンチドーピング機構 (WADA) は、国際ボディビル・フィットネス連盟 (IFBB) は世界アンチドーピング規定 (WADA code) を遵守しておらず、IFBB は WADA の特権を一時的に失ったと発表しました。

これに対して IFBB は、①ドーピング検査を正常に行える手順の調整 ②検査に係わる費用の捻出方法の明確化 ③リスク評価を見直し等の改善 を行うことで、WADA に復帰することができるとしております。

現在、IFBB と IFBB アンチドーピング委員会は、WADA と緊密に協力してこれらの措置を調整しており、できるだけ早く WADA に復帰するという確固たる目標を持って活動しております。

IFBB が WADA の特権を一時的に失ったことにより、JBBF のアンチドーピング活動に何らかの制約が入ることはありません。

日本アンチドーピング機構 (JADA) と JBBF との関係は継続され、アンチドーピングに関する講習会と、競技会などでの検査も引き続き行われます。

世界アンチドーピング機構 (WADA) ホームページ

<https://www.wada-ama.org/en/news/wada-confirms-non-compliance-international-federation-bodybuilding-and-fitness>

2022年11月15日

公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟

会長 青田正順